

令和 8 年度 二村台小学校 第 1 回学校運営協議会議事録

令和 8 年 5 月 1 4 日（木） 1 0 : 0 0 ～ 1 1 : 3 0

会議室

1 はじめに

（１）令和 8 年度運営協議会委員について ○自己紹介

（２）会長・副会長について

○会長 … 元区長 ○副会長… P T A 会長

2 校長挨拶

昨年度まで学校評議員会、本年度から学校運営協議会を開催。委員を引き受けていただき感謝。会を年 3 回予定しているので参加していただきたい。本日は最初の会でもあるので、会の意義や雰囲気を感じ取ってもらい学校運営に協力してほしい。

3 学校運営協議会の概要説明 学校運営協議会コーディネーター

4 議事

学校運営に関する基本的な方針

（１）教育課程の編成に関すること

教育課程について。授業時数について、通常学級、特別支援学級ごとに説明。文科省で示された時数より若干多い時数を実施。

（２）学校経営計画に関すること

学校経営計画について。グランドデザインという形でも表示。

教育目標は、校訓「輝く」を中心に「多様性を認め合い」、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図るとした。本校は他国にルーツをもつ児童がたくさん通っている所以、多様性を身に付けてもらいたいと考える。

目指す学校像として、「多様性を認め合い、グローバル社会の基礎を培う学校」。国際感覚を身に付ける学校であり続けたいと考えている。自他を認め合い、思いやりのある児童に育ててもらいたいと願っている。世界で必要とされる資質能力は「対話」「創造」「自立」という言葉だと考える。徳「対話」はコミュニケーション力、自ら考え行動する力であり、知「創造」は新しいものを創り出す力、国際感覚力であり、体「自立」とは日本人（原籍国人）としての誇り（アイデンティティ）自立心であると定義した。職員や子どもたちには、「自分らしさ」つまり自分に誇りをもって、自立した個に成長してもらいたいと願っている。

重点努力目標としては、①学習支援②国際理解③児童支援④人格形成⑤働き方改革の五つの項目で示している。②の国際理解では、現6年生が2年間かけて国際交流を行い、最終目標で6月13日に名古屋の久屋大通り公園のフィリピンフェスティバルに出演③の児童支援は生徒指導という言い方をかえた。支援とは、何でもかんでも手伝うのではなく、子どもたちに考えさせる力を生活面でも付けさせたい。⑤の働き方改革は急務で、昨年度一年間議論の末、野外活動を子どもの安全の観点からデイキャンプへ切替。

○学校行事について 資料により説明

(3) 学校予算の執行に関すること

修繕と施設維持消耗料に関しては、市内全小中学校 JMという会社にすべてやってもらっている。通信運搬費は切手代等で、今後eメッセージで発信して予算削減をめざす。

(4) 施設管理及び施設設備等の整備に関すること

遊具の整備と特別教室のエアコン設置をする。

(5) 業務量管理・健康確保措置の実施に関すること

学校経営計画の重点努力目標(5)働き方改革の箇所で確認。

(6) その他

部活がなくなったので、20年前立ち上げた陸上地域クラブジャックの母体を二村台小にもってきた。学区にあるので、体力増進につなげてほしい。

通知表について。3学期制から2学期制に変更。本校は多様な国にルーツを持つ児童が多いことから、翻訳し間に合わせなくてはならない。余裕をもった学習計画と授業時間確保に努めたいと考え、懇談会を夏休みに実施。学習を保証するための改革が必要と考えた。1・2年生については年度末に1回のみ通知表を渡すことにした。来年度から3年～6年生は10月と学期末に渡すことに変更した。

5 質疑応答

(委員A) 柔軟にいろいろ変えていただいたのでありがたい。校長がかわるとビジョンはかわっていくのか。

<校長> 自分が考えたことに変えたが、学校運営協議会ができて、自分がかわってもかわらないように議論していきたい。

(委員A) 翻訳はAIがやればよいのではないか。

<校長> 通訳が7名いるのでそれぞれの国の言語で翻訳している。しかし行間に込められ

た思いは、やはり日本の心をもっている人が訳すと安心である。

（委員 A）外国の方に力入れすぎではないのか。日本人も大切にしてほしい。

（委員 B）地域社会に期待することは何かあるか。

<校長>子どもは三位で育っていく。子どもが地域で関わる機会が減ってきた。保護者も地域で交わらなくなっている。夏祭りなどに参加している子はいるのでありがたい。多様性を認めるということはすべてを認めることではなく、お互いに歩み寄ることが必要である。子どもには自分らしさという表現で認め合わせたい。

（委員 C）手数料という名目は違うのではないか。

<市役所で決まっている項目になる、とお答えした>

（委員 D）現役の頃、2 学期制になるといいなあと思っていたのですごくよいと思う。外国籍の子どもが 4 割弱の学校で働いたことがないが、かつては今のような制度がなかったので、特別にある協会から人が来てくれて通訳をしてくれたことがあった。今二村台は通訳さんがいてくれて、日本語のニュアンスをもってやってくれているので安心した。

（委員 E）何か国の子どもがいるのか。また「学校経営」という言葉は一般的なのか。

<校長>即答できないが、7・8 か国の子どもは確実にいる。学校現場では「学校経営」という言葉を一般的に使う。

6 学校運営に関する基本的な方針の承認 賛成多数で承認された。

7 熟議

<熟議のテーマ> どんな子どもに育ってほしいか 時間がなく中止にした。

<学校教育指導員より>

- 学校運営協議会の三つの役割の「任用に関して」
- 業務量管理について 資料「学校と教師の業務の 3 分類」にて説明
- 他地域の学校運営協議会について紹介

8 連絡・その他

- e メッセージ登録のお願い
- 今後の学校運営協議会の予定
 - 第 2 回 10 月 29 日（木）10：00～
 - 第 3 回 1 月 28 日（木）10：00～

9 学校見学